

# THE LEGEND ROLLS ON

## 伝説を創造するカスタム

世界を揺るがした1977年のローライダー。そんなモーターサイクル史に残る名車を  
現行車で再現するプロジェクトがある。長年培ってきた技術と創意工夫から生まれたレプリカは、  
30年にわたりハーレーダビッドソンを扱ってきた老舗ディーラーであるからこそ、なしたカスタムだ。



# 1977 FXS Low Rider

FXSローライダーは、FXEスーパーグライドをもとにして作られたモデル。1200ccのショベルヘッドエンジンと4速ミッションを搭載。レイクしたフレームと、ローダウンしたリアショックで低く長いフォルムを構成。前後のホイールはモーリス製キャストを採用していた。1977年の生産台数は3742台で、現在では高いプレミアムがついている。



FXSローライダーをデザインしたウィリー・G・ダビッドソン。1971年のFXモデルをはじめ、ファクトリーカスタムと呼ばれた、斬新なモデルを送り出したハーレー社の元チーフデザイナー。

ハーレーダビッドソンの110年に及ぶ歴史の中で、節目となった年がある。1903年の第1号車の誕生。1936年のOHVエンジン、ナックルヘッド誕生。1952年のスポーツスターデビュー。1971年のFXモデル登場……。その都度新しいテクノロジーやスタイリングを備えた新型車かりりりされてきた。

1977年もハーレー史の中では非常に重要な年として、エンジニアたちたちの記憶に刻まれている。その年ハーレー社は、新モデルを2台発表した。

1台はXLCRで、ショベルヘッドのスポーツスターエンジンを搭載。このモデルはカフレーサーと呼ばれる、カスタムバイクそのもののスタイルが純正仕様となっていた。新設計フレームにビキニカウルと縦長のタンク、レーサー然としたテール……。それまでのハーレーにはないスタイルだった。

もう1台はFXS。ローライダーというニックネームが与えられたこのモデルも、デビュー時に絶大なインパクトを世界に与えた。

その名の通りローダウンされ低く構えた車体は、ドラッグレーサーを彷彿とさせるもの。水平基調のドラッグバーハンドルと2in1の極太なマフラーがその雰囲気を増幅。ガンメタリックにレッドのロゴのみという純正ペイントはこの年式だけのものだった。

カスタムマインドにあふれ、圧倒的な存在感を持つローライダーは世界中で大ヒット。このモデルからハーレーに乗り始めたという若者も多かった。その後、ショベルヘッドエンジンの時代からエボリューション、ツインカムエンジンになってもラインアップに欠かせない人気モデルとなったのである。

茨城県のハーレーダビッドソンレインボーが手がける、コンプリートカスタムは、かつてのローライダーなどの名車を、現行モデルを使って再現するというシリーズだ。レインボー代表の天田さんもショベルの



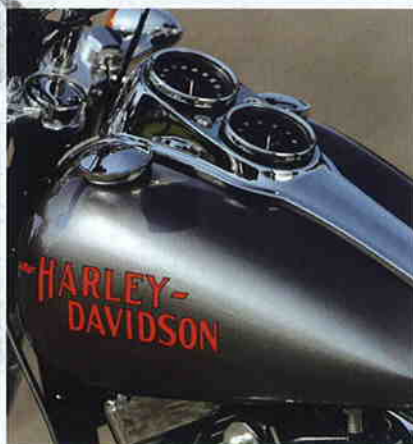
ハーレーダビッドソンレインボー 1983年からハーレーを取り扱い始めて30年目の経験豊富な正規販売網。H.O.G茶城チャプターやショップ主催のツーリングも毎月開催している。茨城県土浦市永国1059-6 TEL029-822-6666 www.rainbow-mc.jp/

ローライダーが大好きで、昔は1977年式を個人的に所有していたという。

ツインカムのローライダーを違和感なく、ショベル時代のローライダーのようにカスタムするのは簡単なことではない。ダイナにそれらしいパーツを付けられはでき上り……。というものでないからだ。

ショベルヘッドとはエンジンもシャーシのスケールも違うので、完成時のバランスが重要。しかも正規販売網であるから、できるだけ純正パーツを活かした作りも必要になる。レインボーでは純正パーツとオリジナルで開発したパーツ、そしてアフターマーケット品をうまく組み合わせ、その取り付けにも工夫を凝らし、ブラケットやマウントを製作するなどして、装着時の違和感を徹底的に排除した。その結果まるで1977年のローライダーが、新モデルとして復活したかのように完成度の高いカスタムバイクへと昇華させた。

このようなカスタムが生まれるのも、ハーレーダビッドソンの普遍的なスタイリングと、100年を超える歴史があつてのことだろう。



ストックのフューエルタンクに1977年当時のガンメタルを再現したペイント。ハーレーのロゴもAMFの文字が入る凝りようだ。スピードどダコの縦？運メーターコンソールは初代から受け継いだもの。



純正のハイフローエアクリナーを使用。排気量を表すインサートの文字は、ショベルヘッド時代の1200ではなく1580になっている。ツインカムエンジンの誇りがここに。



ヘッドライトは純正でオリジナルのマウントを使って取り付け。純正ターンシグナルを1977年式ローライダーと同じように、トリプルツリーの両サイドにセット、トリプルツリーに貼られたLOWRIDERのエンブレムが雰囲気盛り上げる。



ホイールとブレーキは純正をそのまま使用。旧タイプのフロントフェンダーは、H-Dレインボーのオリジナルパーツを装着している。



H-Dレインボーのオリジナルパーツ、FXDL用ダブルシート。1977年式ローライダーのシートをモチーフに、ダイナに合うシェイプと乗りやすさを兼ね備えているシートだ。



タイマーカバーもショベル時代と同じナンバーワンマーク入りを使う。このマークもウィリー・Gがデザインした。

